

理工学部長 田中 康寛 殿

2025年度前期 電気電子工学科および電気電子通信工学科 教育改善報告

電気電子通信工学科 主任教授 傘 昊

教務委員 平野 拓一

I. 学科としての教育改善の報告

教室会議(2025/12/3)にて下記事項およびアンケートに関して意見を募り審議を行った。

(1) 授業改善アンケートの分析結果

2024年度より、アンケート結果の有効なフィードバックと回答負荷低減のために項目を減らしたため、2023年度よりも過去のデータとの比較は

- ・アンケート回収率
- ・1授業の授業外学習時間

の2項目のみ行った。

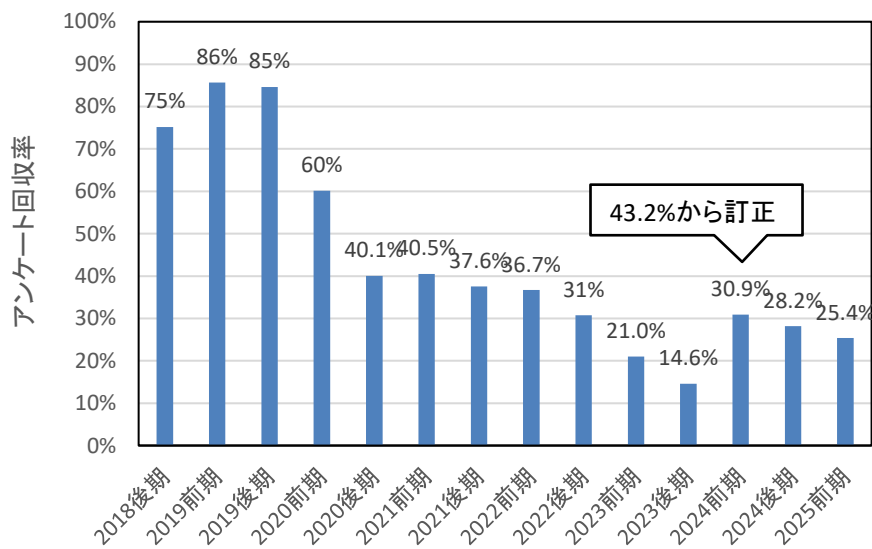


図1 アンケート回収率の推移

図1にアンケート回収率の推移を示す(2024年前期の回収率は43.2%から30.9%に修正したが、これは回答の重複が取り除けていなかったためである)。コロナ禍でオンライン授業が開始された2020年前期から回収率が急激に下がった。今回の回収率は前学期と同じ程度の回収率であったが、同一授業で比較対象となる1年前の30.9%に比べて25.4%と若干低下した。原因は授業内でのアンケート回答時間を十分とらなかったことが考えられる。受講者数50名以上で80%以上の回収率の授業はSD PBL(1)、SD PBL(2)、電気回路基礎及び演習、電磁気学概論、電磁気学基礎演習、システム解析である。これらすべての授業において授業内でアンケート回答の時間を確保していた。

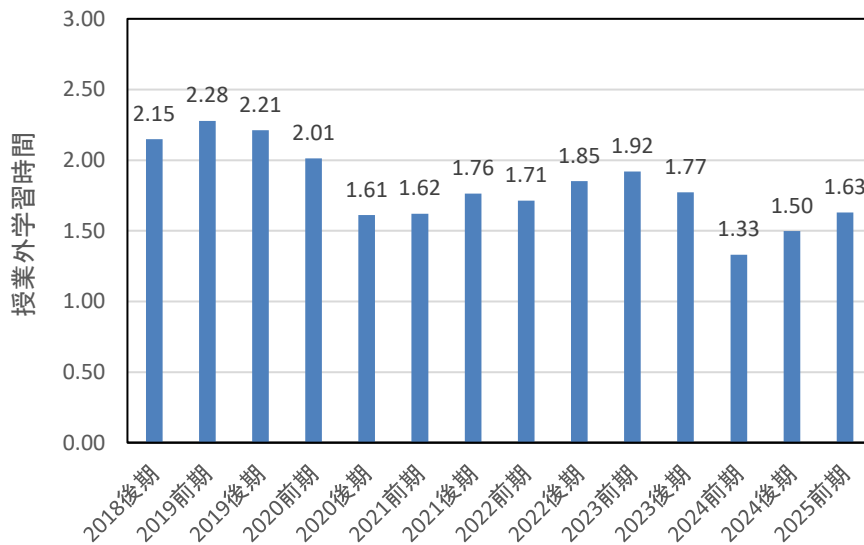


図2 授業外学習時間(1授業あたり)

図2に授業外学習時間(1授業あたり、全授業平均)の推移を示す。授業外学習時間は前回の1.5時間から1.63時間と少し増えたが概ね同じ傾向である。

表1 アンケート各項目の全授業平均

| | 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|--------|-------|-----------|------|------|-----------|------|--------|---------|
| | 回収率 | シラバス整合 | 教材 | 進行 | コミュニケーション | 授業環境 | 能力向上実感 | 授業外学習時間 |
| 2018後期 | 75% | | | | | | | 2.15 |
| 2019前期 | 86% | | | | | | | 2.28 |
| 2019後期 | 85% | | | | | | | 2.21 |
| 2020前期 | 60% | | | | | | | 2.01 |
| 2020後期 | 40.1% | | | | | | | 1.61 |
| 2021前期 | 40.5% | | | | | | | 1.62 |
| 2021後期 | 37.6% | | | | | | | 1.76 |
| 2022前期 | 36.7% | | | | | | | 1.71 |
| 2022後期 | 31% | 43.2%から訂正 | | | | | | 1.85 |
| 2023前期 | 21.0% | | | | | | | 1.92 |
| 2023後期 | 14.6% | | | | | | | 1.77 |
| 2024前期 | 30.9% | 3.62 | 3.35 | 3.39 | 3.35 | 3.47 | 3.32 | 1.33 |
| 2024後期 | 28.2% | 3.64 | 3.31 | 3.37 | 3.36 | 3.47 | 3.36 | 1.50 |
| 2025前期 | 25.4% | 3.65 | 3.39 | 3.39 | 3.45 | 3.49 | 3.40 | 1.63 |

表1にアンケート各項目の全授業平均を、設問内容を表2に示す。1~6の設問は1(ネガティブ)~4(ポジティブ)の評価となっており、3を超えているため、平均はポジティブな評価となっている。また、2024年度前期、2024年度後期と比べて目立った数値の変化はない。

表 2 アンケート設問内容

| No. | 設問 | 説明 | 選択肢 | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|-----|-------|---|--|--|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | |
| 1 | 授業はシラバスの記載内容通りでしたか？ | シラバスの | そう思わな | あまりそう | まあそう思 | そう思う | シラバスを確認して | | | | | | |
| 2 | 提供された教材は役立ちましたか？ | テキスト、講 | 役にたなか | あまり役に | ある程度役 | 役立った | | | | | | | |
| 3 | 授業は円滑に進行しましたか？ | 講義、グル | 円滑ではな | 少し円滑で | ある程度円 | 円滑だった | | | | | | | |
| 4 | 担当教員と受講者とのコミュニケーションは十分でしたか？ | 質問対応、 | 不十分だっ | やや不足し | おおよそ十 | 十分だった | | | | | | | |
| 5 | 授業環境は十分でしたか？ | 教室の大き | 不十分だっ | やや不十分 | おおよそ十 | 十分だった | | | | | | | |
| 6 | 授業を通じて自身の能力が高まったと感じましたか？ | 新たな知識 | そう思わな | あまりそう | まあそう思 | そう思う | | | | | | | |
| 7 | 授業1回につき授業外学習に何時間かけましたか？ | 授業外には | 1時間 | 2時間 | 3時間 | 4時間 | 5時間 | 6時間 | 7時間 | 8時間以上 | | | |
| 8 | 上記の質問項目に関する具体的なコメントやその他伝えたいことがあ | | | | | | | | | | | | |

(2) アンケート公開方法

学科 HP にアンケート結果概要の公開及び授業改善結果のフィードバックを行う。

URL: <http://www.ee.tcu.ac.jp/>

(3) 学科の教育改善検討報告

授業改善アンケート結果をもとに意見を交わした結果の概要を以下にまとめる。

- ・ 評価基準がシラバス記載と違っているという意見があった。
- ・ 設備が古い教室 (3号館1階) があるという意見があった。
- ・ 実験機器が不足・故障しているものがあるという意見があった。

(4) 学科の教育改善の具体策

- ・ シラバスに現実の評価に沿った記載をする。
- ・ 継続的に施設・設備改善を行う。

II. 理工学部教務委員会への提案

(1) 共通問題の指摘

- ・ アンケート回収率向上については、授業内で時間を取ることで回収率を上げることができると考えられる。他の科目でも回収率向上方法について共有する。

(2) 改善策の提案

- ・ 教室設備の適切な管理をお願いしたい。
- ・ PC 必携の為、各教室での電源の設置や充電スポットの充実をお願いしたい。
- ・ 授業を円滑に進めるため実験・演習科目やアクティブ・ラーニング実施科目での TA の設置を常態化し、予算の確保をお願いしたい。

以上